

第15期(2013年3月期) 決算のご説明

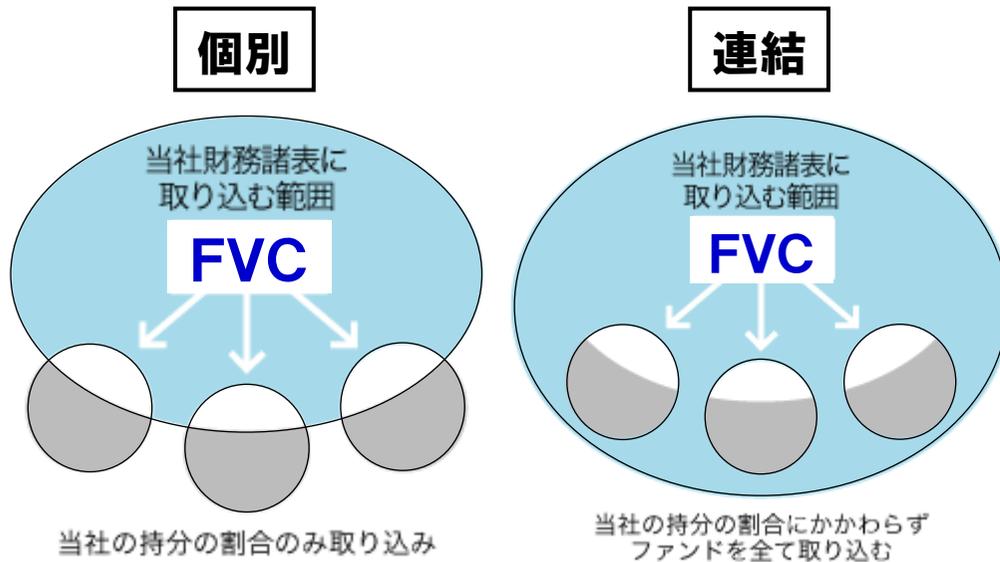
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証JASDAQスタンダード, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

本資料の数値は、特に指定がない限りすべて2013年3月末現在のものです。

本資料における記載数値について

当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の**当社持分のみを連結した個別決算数値を記載**しております。



<連結決算の場合>

- 連結貸借対照表
 - ・自己資本比率が低下
- 連結損益計算書
 - ・営業投資有価証券にかかる損益が増幅
 - ・投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去(管理報酬等)

投資事業組合の運用総額に占める当社持分の割合20.2%

目次

- 1. 株式市場環境 … P.4
- 2. 2013年3月期決算説明 … P.7
- 3. 収益改善に向けた取り組み … P.21

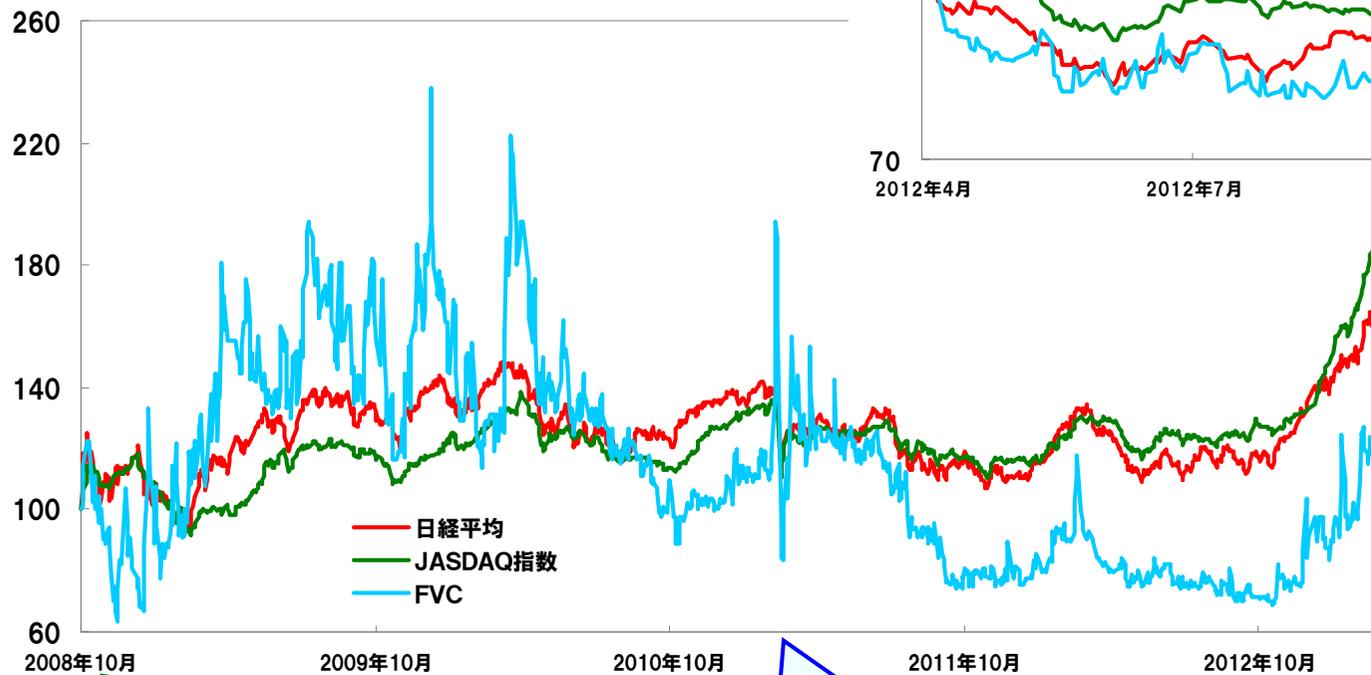
【参考】 会社概要



株式市場環境

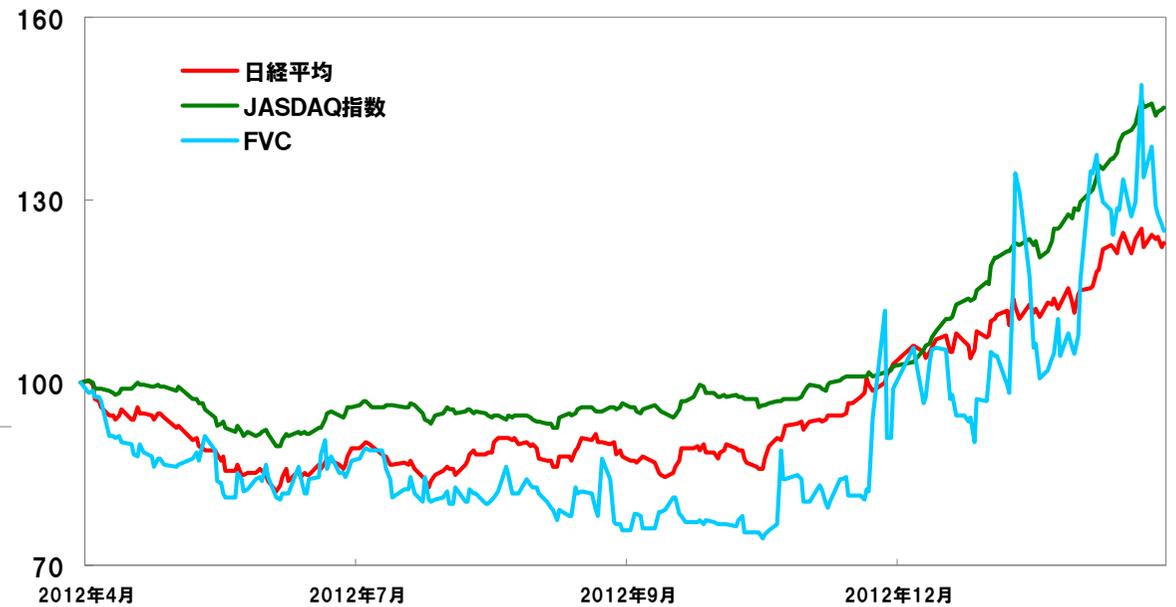
1.1. 株式市場の状況

2012年度前半は低迷気味だったものの、
安倍政権成立後は大きく上昇



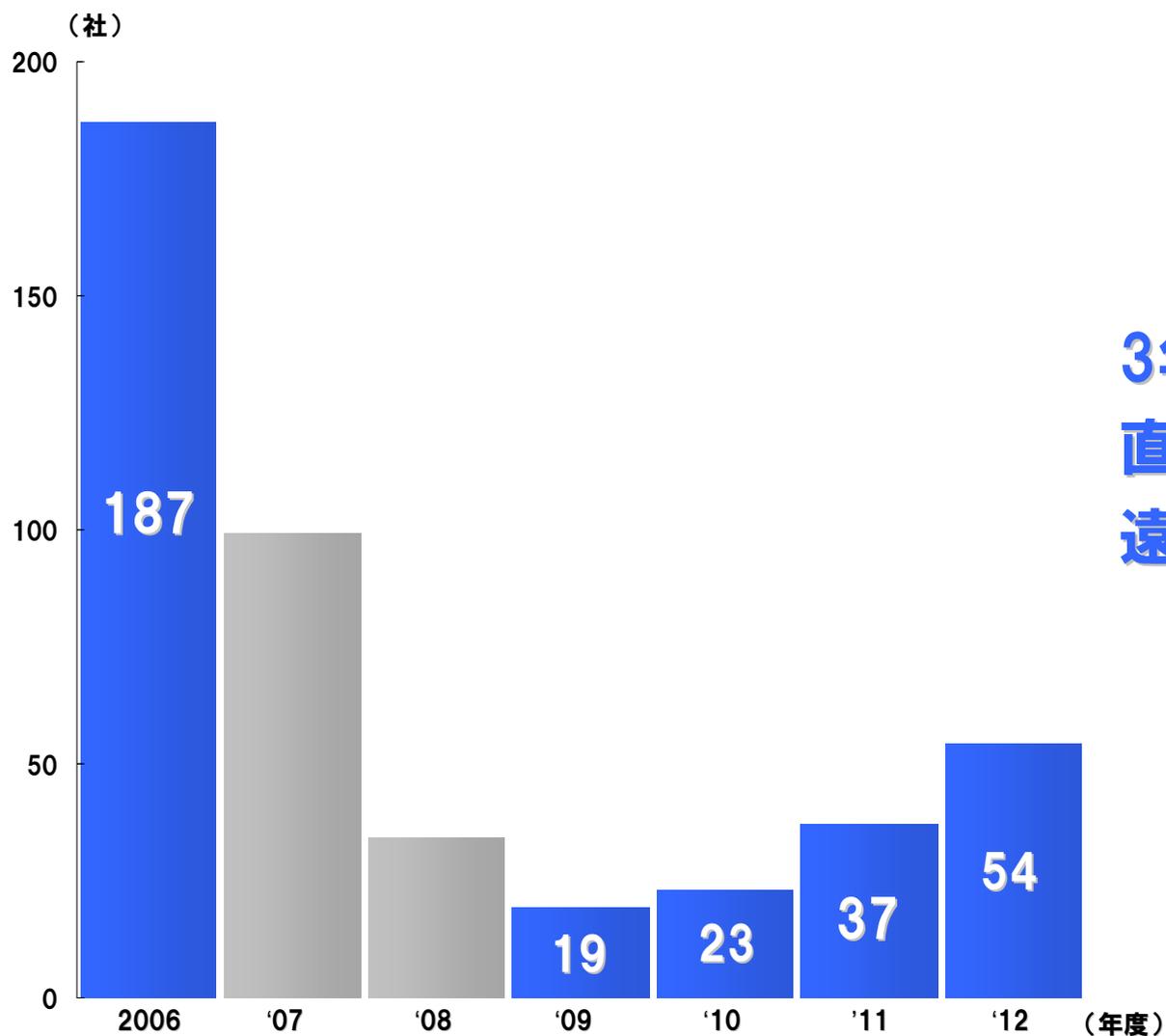
日経平均史上最安値
(リーマンショック直後)

東北地方
太平洋沖地震



(右上) 2012年4月1日を100とする指数
(左下) 2008年10月28日を100とする指数

1.2. 新規上場市場の状況



新規上場市場

3年連続前年度超えたものの、
直近ピークの2006年度には
遠く及ばない水準



2013年3月期 決算説明

2.1. 期首経営課題

1. ベンチャーキャピタル事業の更なる強化

- 株式会社カネカとの連携により、投資先企業に対する技術面・営業面での充実を図り、投資先の企業価値向上、売却時の価格向上につなげる
- 株式会社コーポレート・アドバイザーズ(会計支援サービス会社)と連携し、中小ベンチャー企業向けコンサルティングメニューの共同開発により、投資先企業に対する財務面での支援を強化する
- インキュベーション事業により、起業支援のエコシステムを構築する
- 有望なベンチャー企業に対する支援を継続するため、新規ファンドの設立を目指す

2. 新たな収益源の獲得

経営の早期安定化のため、本業であるベンチャーキャピタル事業を強化するとともに、既存事業の周辺領域への展開による短期的収益源の獲得を目指す

- 会計支援サービス事業
- インキュベーション事業
- 新たな投資スキームを用いたファンド事業

2.2. 決算概要

投資事業組合管理収入が減少したことにより**売上高は減少したものの**、営業投資有価証券に係る損益の改善、販売費及び一般管理費の減少により**営業、経常損益は改善**
前期比マイナスではあるものの**当期黒字を計上したことにより**、自己資本比率も改善

単位:百万円	第13期 2011年3月期	第14期 2012年3月期	第15期 2013年3月期	対前期比
売上高	631	475	412	△63
営業損益	△271	△194	△52	+142
経常損益	△307	△232	△83	+149
当期損益	△333	84	43	△41
純資産	101	316	359	+43
総資産	1,406	1,446	1,458	+12
自己資本比率	6.2%	20.7%	23.5%	+2.8

2.3. 特別利益及び特別損失の計上

特別利益

当社が運用する投資事業組合の他組合員持分を評価額以下の金額にて譲り受けたことにより、199百万円の特別利益を計上

特別損失

当社が運用する投資事業組合の組合総額が減額されたため、過去に遡って変更される管理報酬相当額の63百万円を特別損失として計上

単位:百万円

第15期

2013年3月期

売上高

412

営業損益

△52

経常損益

△83

当期損益

43

+126

純資産

359

総資産

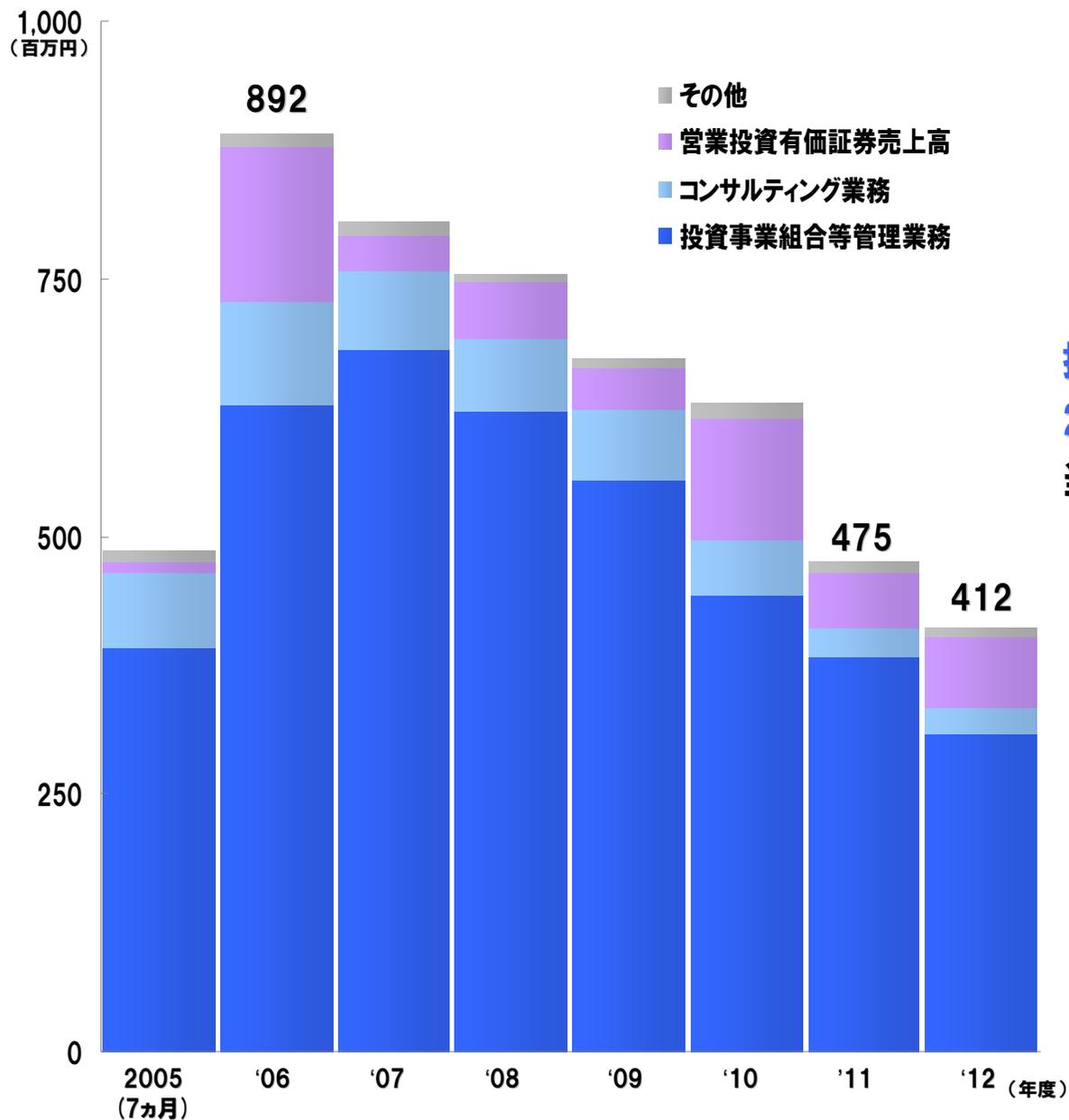
1,458

自己資本比率

23.5%

※ 差額10百万円は主に税金

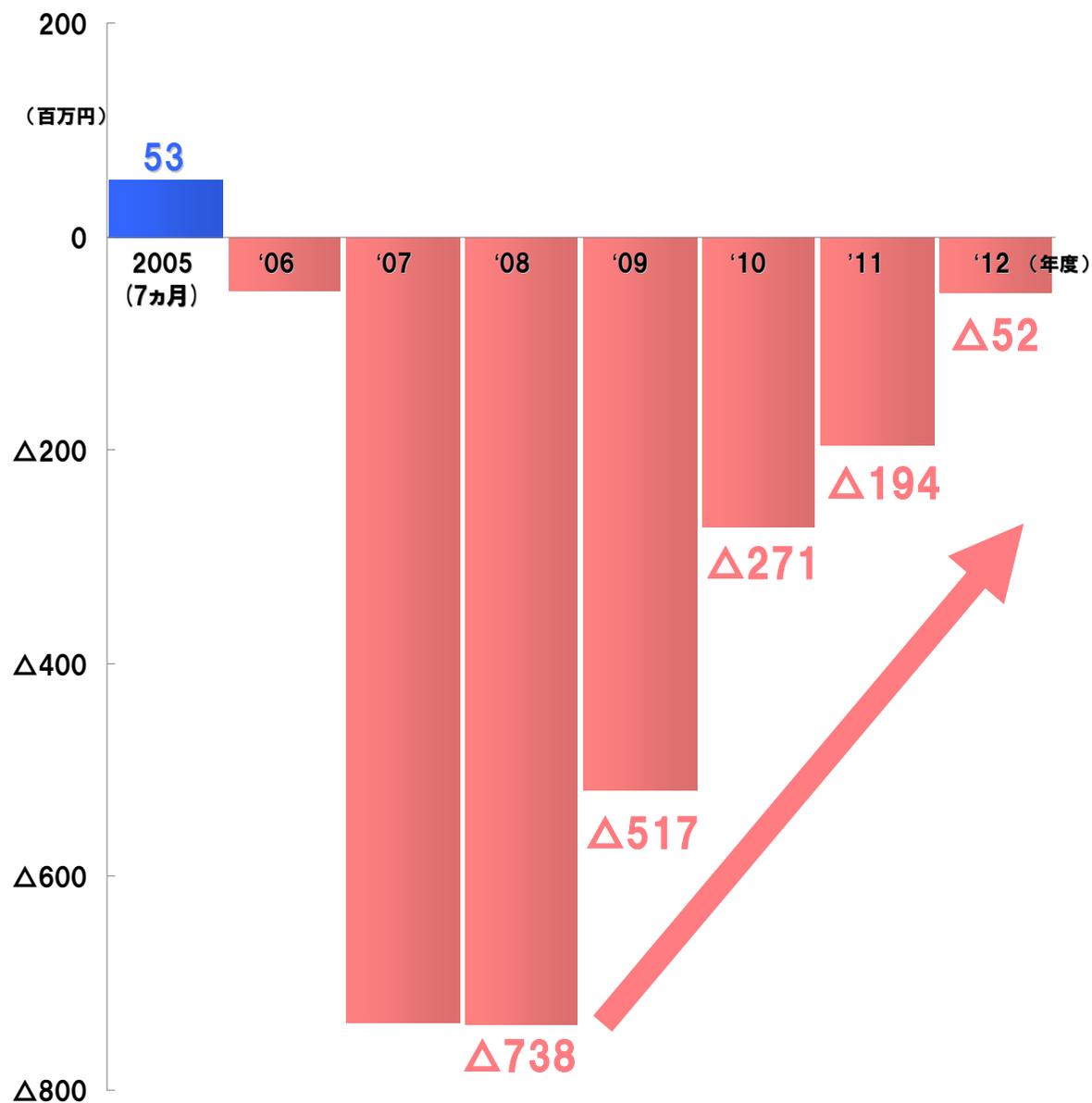
2.4. 売上高推移



売上高

投資事業組合等管理業務収入の減少が続き、
2006年度をピークに減少傾向
当期も前年同期比で減収となった

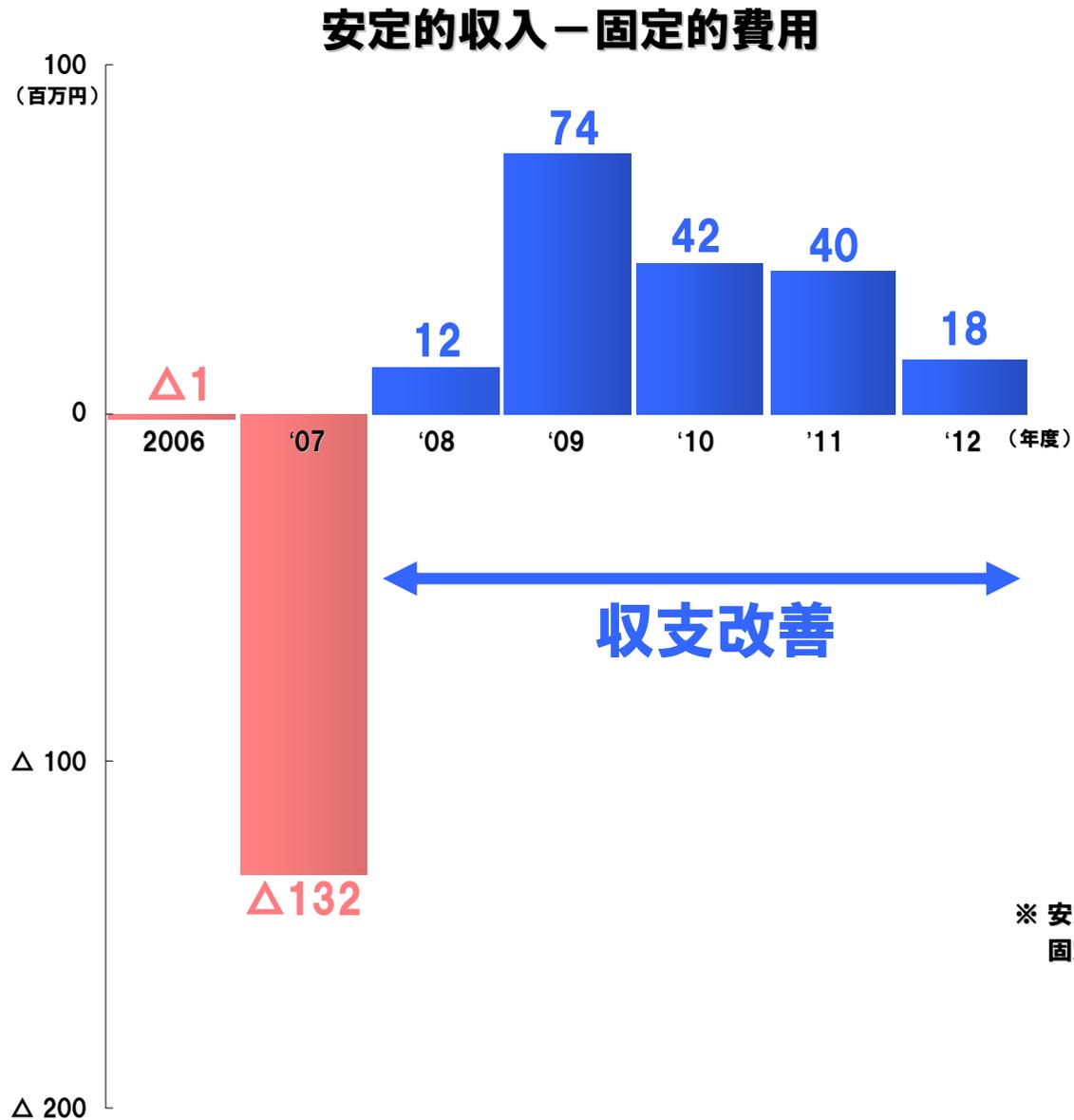
2.5. 営業損益推移



営業損益

営業投資有価証券に係る
引当金繰入額が減少し、
2008年度をピークに改善傾向

2.6. 安定的収入と固定的費用のバランス



安定的収入と固定的費用

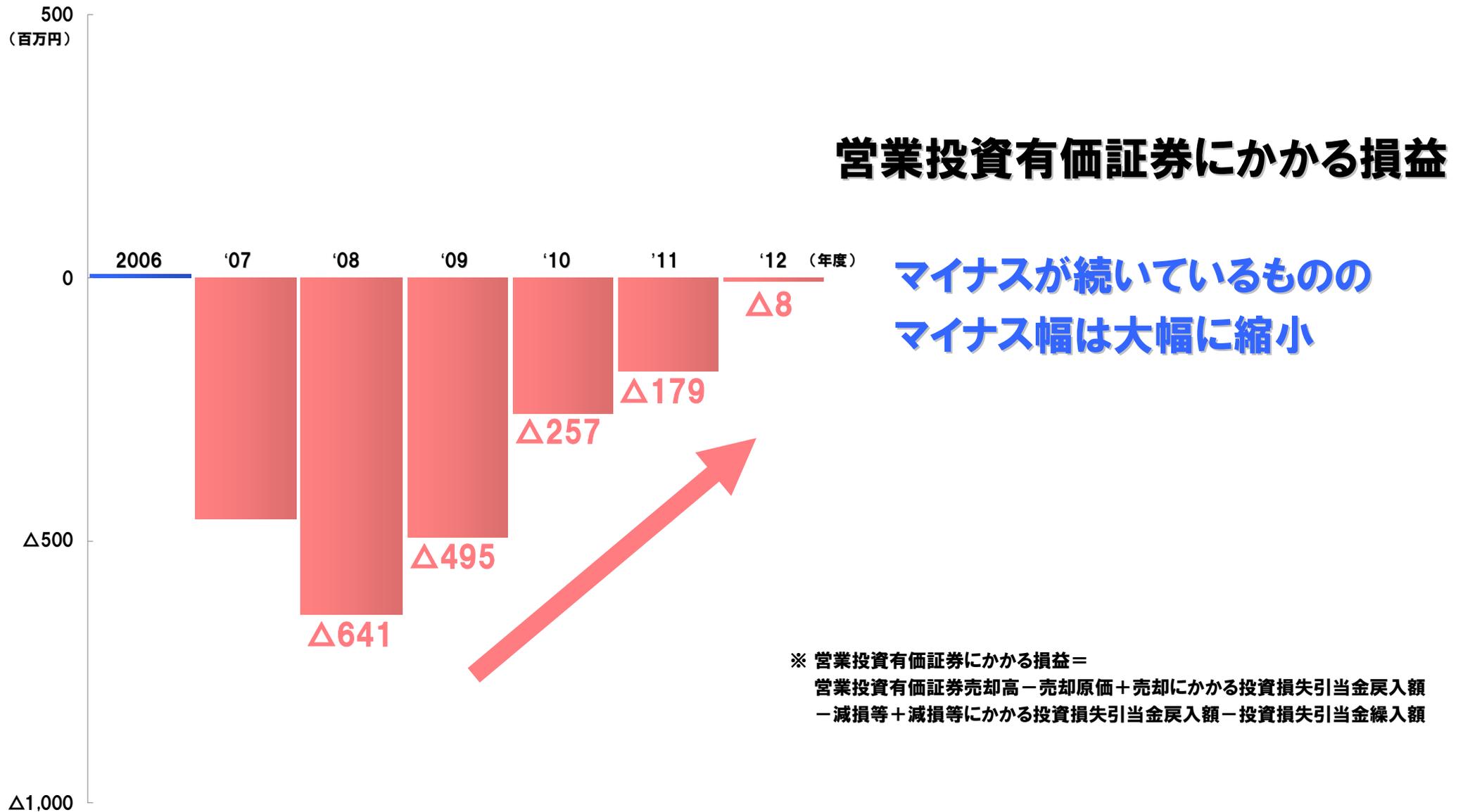
2006年度より安定的収入と固定的費用の
バランスが悪化



経費削減を進め、2008年度以降は
収支改善

※ 安定的収入＝投資事業組合等管理収入＋コンサルティング収入
 固定的費用＝販売費および一般管理費＋売上原価（営業部門における活動経費）

2.7. 営業投資有価証券にかかる損益(合計)



2.7. 営業投資有価証券にかかる損益について

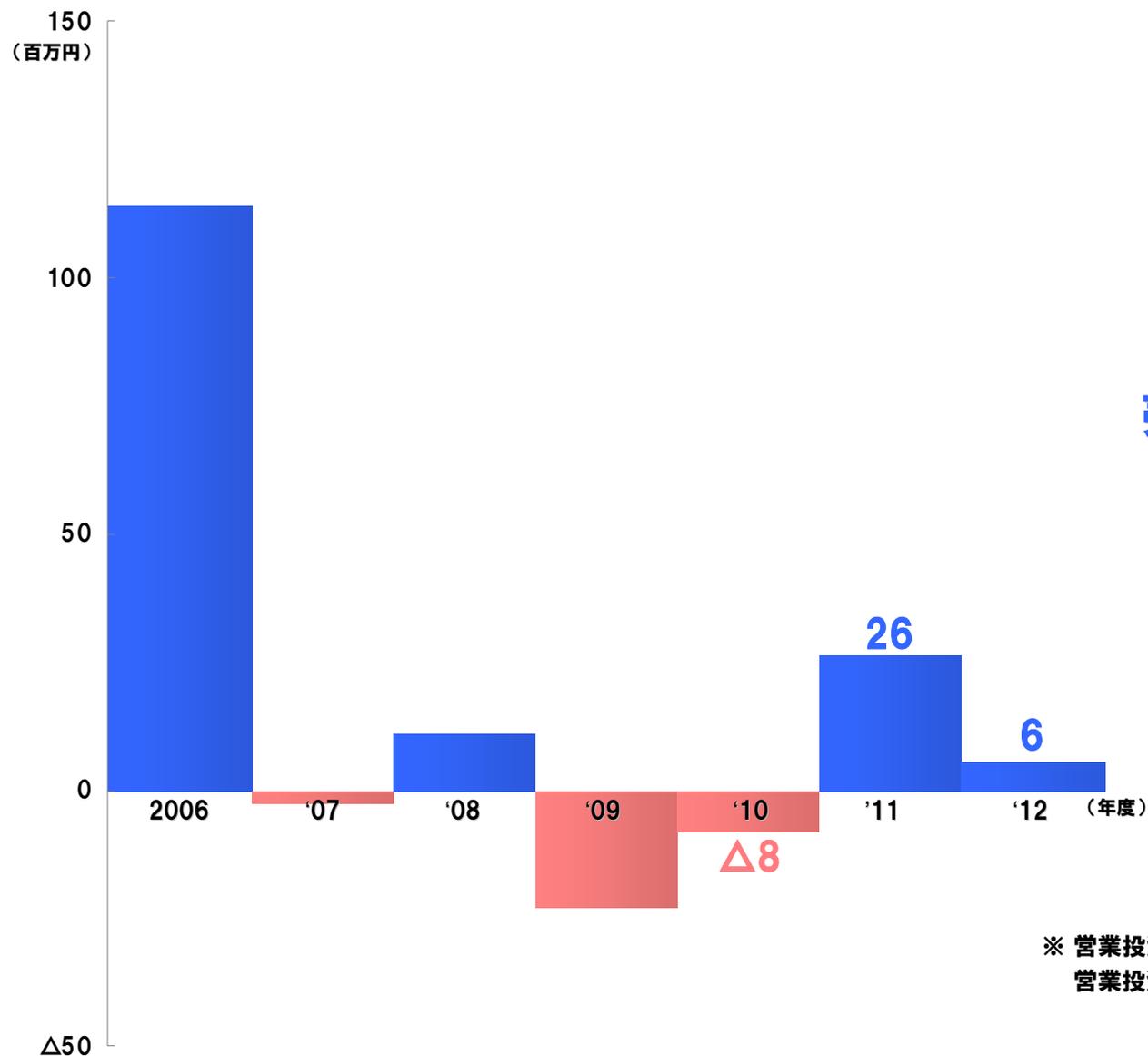
営業投資有価証券にかかる損益（合計）＝

①売却にかかる損益＋

②減損等・投資損失引当金繰入にかかる損益

※ 本資料においては、端数処理（切捨て）の影響で合計額が一致しておりません。

2.7. 営業投資有価証券にかかる損益(売却)

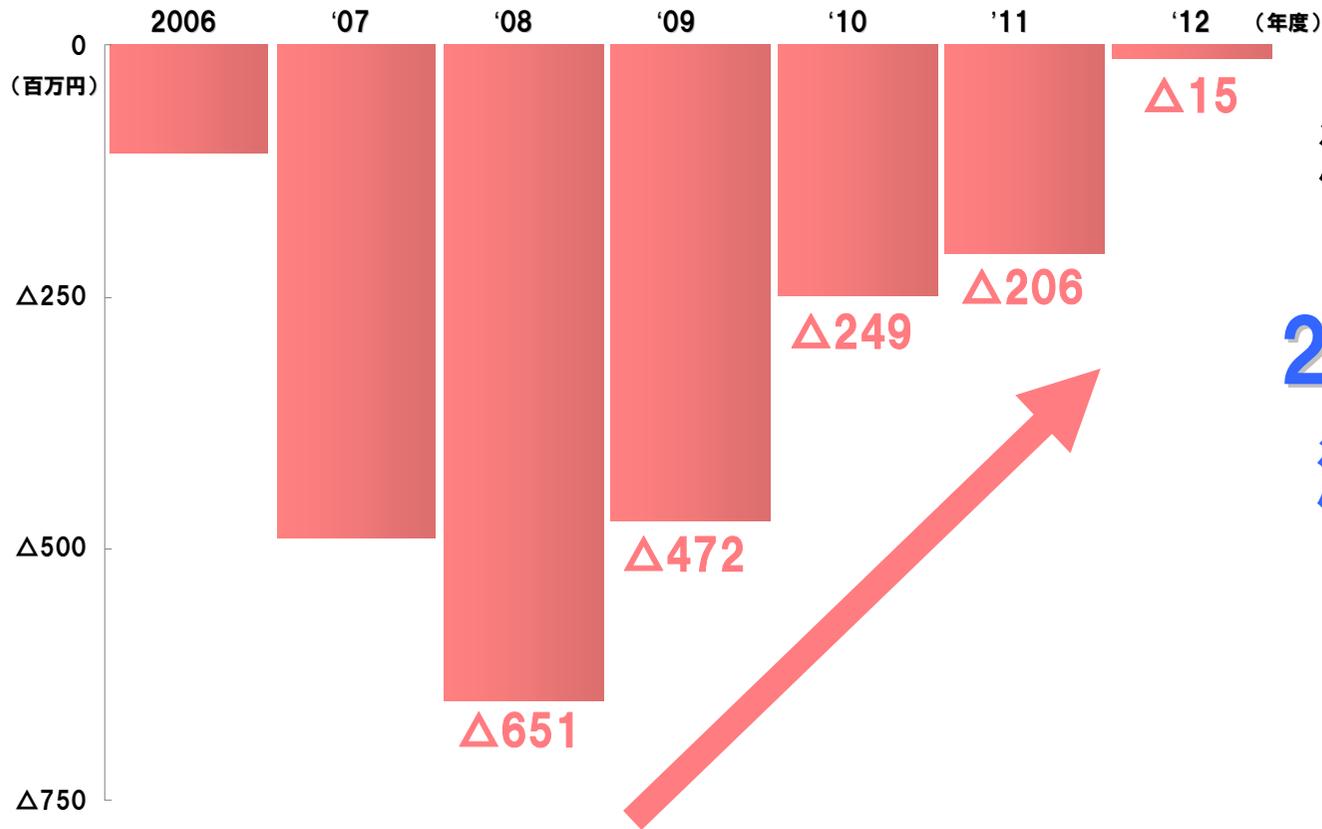


営業投資有価証券の 売却にかかる損益

売却にかかる損益はプラスを維持

※ 営業投資有価証券の売却にかかる損益＝
営業投資有価証券売却高－売却原価＋売却にかかる投資損失引当金戻入額

2.7. 営業投資有価証券にかかる損益(減損等・引当金繰入)

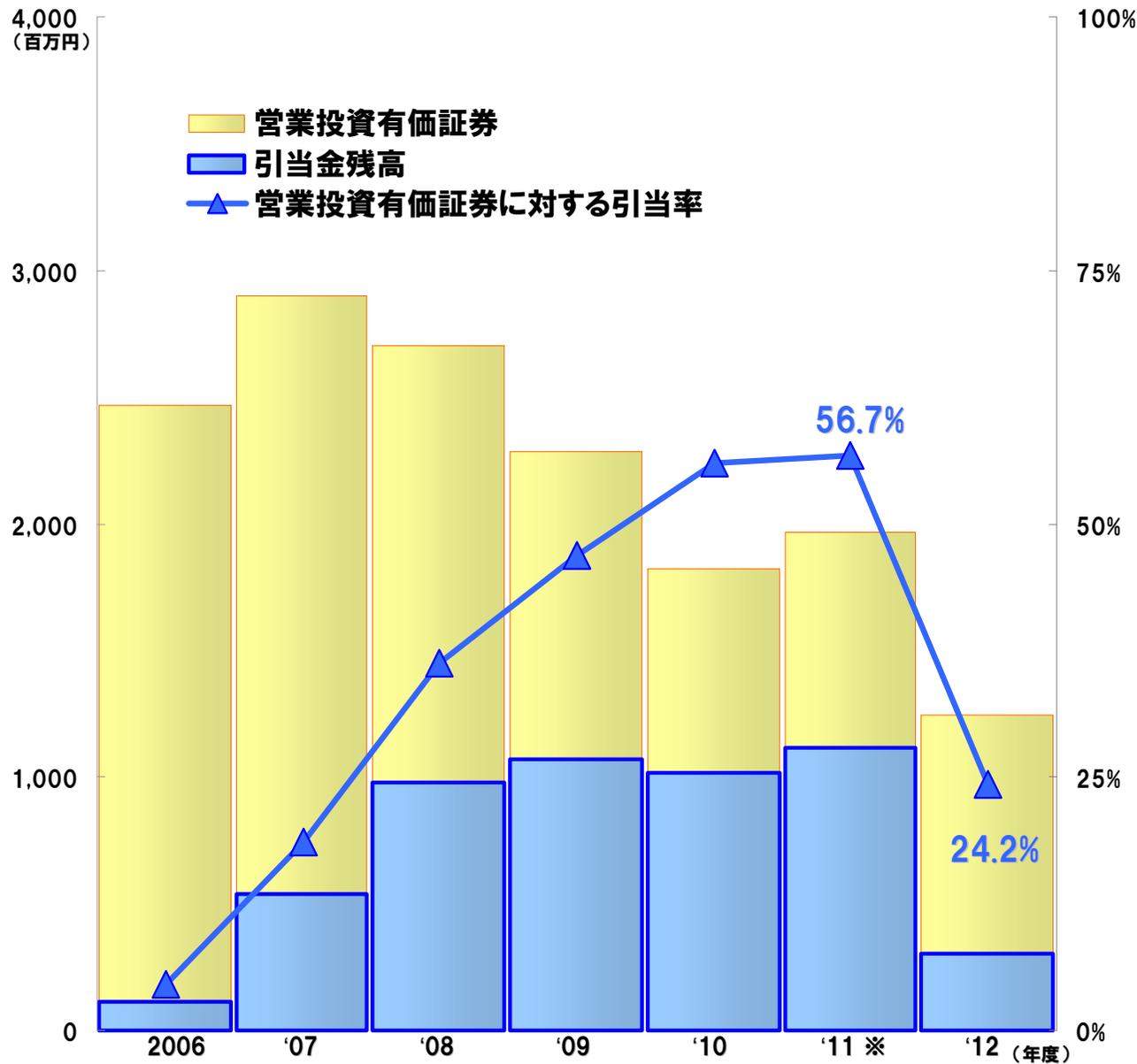


減損等・引当金繰入

**2008年度をピークに
減少し、ほぼ±0に**

※ 営業投資有価証券の減損等・引当金繰入にかかる損益＝
－減損等＋減損等にかかる投資損失引当金戻入額－投資損失引当金繰入額

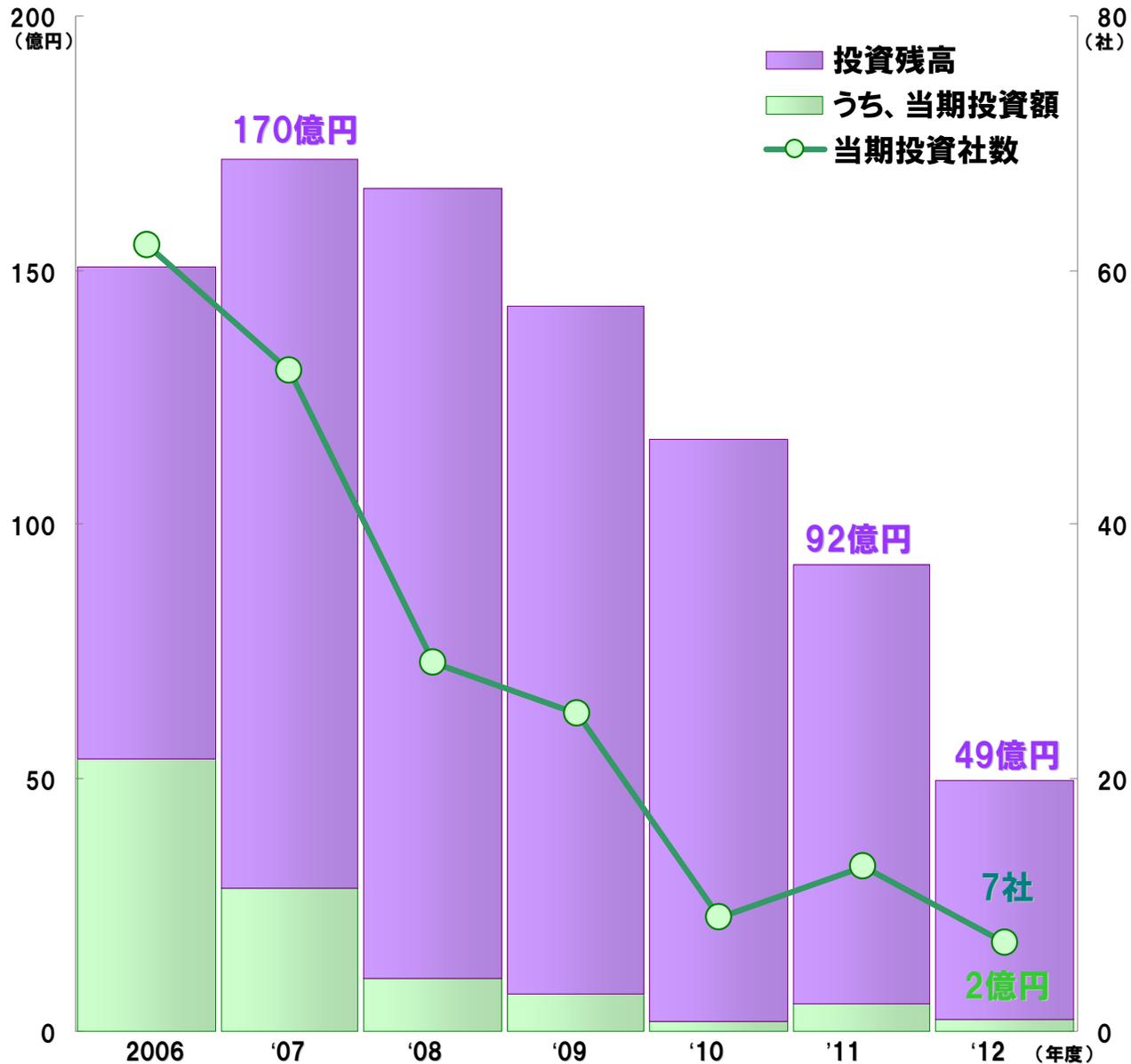
2.8. 営業投資有価証券と投資損失引当金



営業投資有価証券に対する引当率

旗艦ファンドの存続
 期限が迫る中、
 回復可能性評価により
 減損処理を進めたため、
 引当率が減少

2.9. 投資活動



投資活動

売却活動の推進と減損処理、投資額の減少により、2007年度をピークに投資残高は減少が続く

※ 連結対象の投資事業組合すべてを含んだ数値を記載

2.10. 上場企業紹介

株式会社ありがとうサービス

地域ファンド投資企業

上場日 : 2012年11月12日

上場市場 : JASDAQスタンダード

本社所在地 : 愛媛県今治市

事業概要 : HARD OFF、BOOK OFF、モスバーガー等のFC店舗の運営

ベルグアース株式会社につき、えひめベンチャーファンドから
累計4社目の新規上場

投資時点
株価

2,500円

⇒

期末終値
(3/30)

1,600円

期末終値
投資倍率

0.6倍

当社運用組合持分は2013年3月31日現在、株式を保有しているため、2013年3月末時点の株価を記載しています。なお、初値は1,302円で初値投資倍率は0.5倍となっています。



収益改善に向けた取り組み

3.1 収益改善に向けた取り組み

1. ベンチャーキャピタル事業の更なる強化

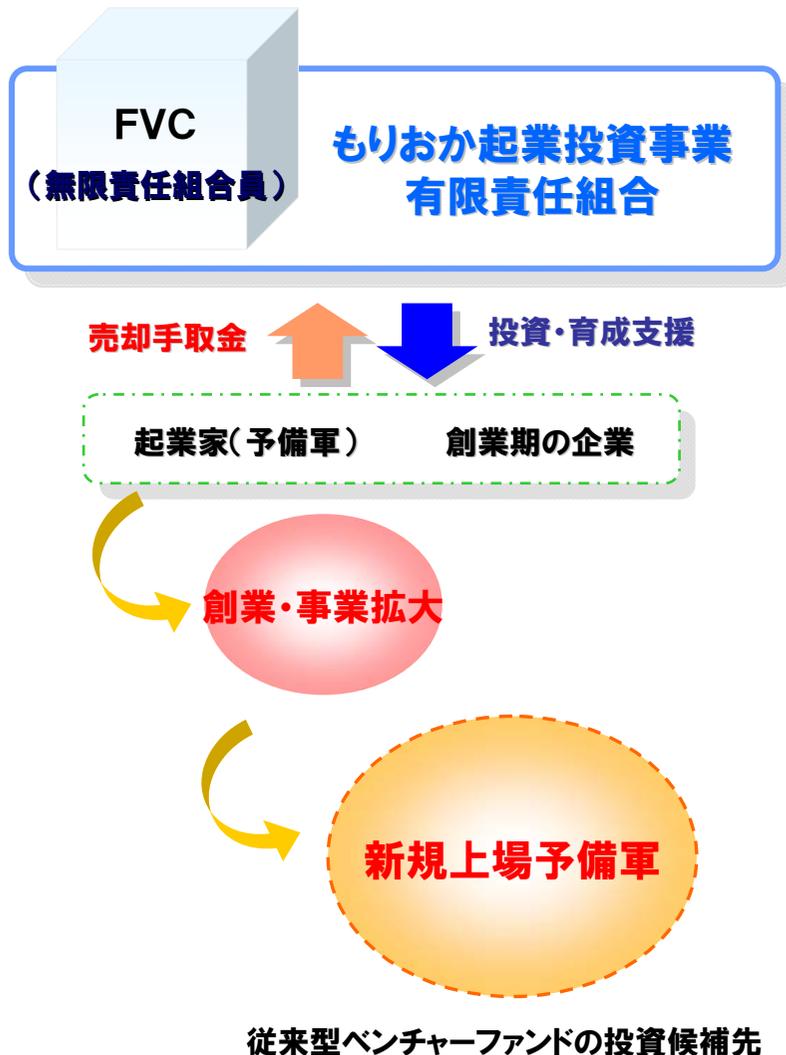
- 株式会社コーポレート・アドバイザーズと連携したコンサルティングメニュー開発
複数の中小ベンチャー企業にサービスを導入、投資先企業への育成支援にも転用中
- インキュベーション事業の拡大による起業エコシステムの構築
share KARASUMAに続き2013年3月にshare YODOYABASHI deckを新設
- 新規ファンドの設立
2012年8月 もりおか起業投資事業有限責任組合を設立（次頁）

2. 新たな収益源の獲得

- インキュベーション事業を始めとする新規事業による収益源の多様化
2011年7月に新設し、2012年4月に増床した第1号施設は安定体制に
2013年3月に新設した第2号施設に続く案件を引き続き開拓し、年1件の新設を目指す
- 新規ファンドの設立、ファンドの管理受託
既存ファンドの後継となるベンチャーファンドなど新規設立に向け活動中
また、ファンド運営のコンサルティングサービス提供やファンド管理受託にも着手
- 自治体向けコンサルティング事業
2011年愛知県、2012年大阪市から調査事業を受託
起業支援、販路開拓等をテーマとする事業の受託を見込む

3.2 もりおか起業投資事業有限責任組合の設立

2012年8月 もりおか起業投資事業有限責任組合を設立



- ・2007年6月以来となる新規ファンド
- ・当社初の創業支援ファンド
- ・盛岡広域地域の起業家や創業間もない企業を支援
- ・地元の金融機関及び自治体と連携し、地域密着型の育成支援体制を構築

もりおか起業投資事業有限責任組合を通じた活動が、創業期の企業支援を強化し、従来型ベンチャーファンドの投資対象となる企業のすそ野を拡げることに繋がる

【参考】 会社概要

- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 2,048百万円
- 発行済株式総数 : 61,259株
- 株式上場市場 : 大阪証券取引所 JASDAQ市場 (8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地 烏丸中央ビル
- 従業員数 : 26名
- 事業内容 : 未上場企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など